

競技上の注意

- 1 本大会は日本ソフトテニス連盟発行のソフトテニスハンドブックに則り行う。
- 2 マッチはすべて7ゲームマッチとする。
- 3 使用球は男女ともアカエムとする。
- 4 ベンチは組み合わせ表の若い番号を中央通路側とする。
- 5 審判は団体戦は審判割の通りとし、個人戦は敗者審判とする。
* 正審・副審は、判定区分をしっかりと守り大きな声でコールすること。
- 6 マッチ中は審判の指示に従い、連続的にプレーすること。(連続的にプレーしない場合、警告(イエローカード)→3回で失格)
- 7 マッチ中のコーチは、チェンジ・サイズ時・ファイナルゲーム前に登録された者が指定されたベンチ内で行っても良い。(フェンス外などでは行わないこと)
- 8 チェンジ・サイズ時・ファイナルゲーム前には、1分以内のインターバルをとることができる。審判は40秒でホイッスルをならすこと。
- 9 団体戦初戦のオーダーは、開会式前に提出のこと。
- 10 団体戦において初戦の挨拶時に6名以上整列できない場合は失格とする。ただし合同チーム編成の都合上、6名に満たない人数で出場を認められたチームはその限りでない。また、初戦の挨拶時以後欠員の生じたチーム、6名に満たないチームは2ペアで競技を行い、出場順番については3番目を棄権とする。なお、オーダー提出時に相手校の監督・本部にその旨を連絡すること。
- 11 団体戦は、リーグ戦においてはすべて3マッチ行う。トーナメントにおいては2点先取をもって対戦を終了する。なお、トーナメントにはリーグ戦の上位2チームが進出する。
- 12 団体戦は進行状況により2面・3面展開もありうる。
- 13 団体戦・個人戦とも、次チームはコート後方で待機して前の試合が終了次第すぐにコートへ入ること。また、勝者は速やかにジャッジペーパーを本部に提出すること。
- 14 1日目は団体戦のみを行い、個人戦は2日目に行う。
- 15 個人戦のトスは本部で行う。前の試合が始まったら速やかに本部に集合すること。原則として放送での呼び出しは行わないので進行表及び掲示板の進行表追加分に十分注意すること。速やかに集合しない場合は前の試合開始後5分経過ごとにイエローカード1枚を与え、15分経過した場合は失格とする。
- 16 県大会の出場権を得たチーム・ペアは、早めに本部で県大会の手続きをすること。
(1人1000円 10月19日(土)団体戦・20(日)個人戦 会場南長野運動公園テニスコート監督会議は18日(金) 15時30分より オリンピックスタジアム内会議室)
- 17 貴重品管理には十分留意する。自転車は整理し駐輪する。ごみは必ず持ち帰る。
- 18 運動公園内でのボールを使ったウォーミングアップは禁止する。
- 19 競技用具・服装等は、公認のものを使用すること。
・選手は学校名を表示したゼッケン(A4版大)を背中につけること。(県名を上、校名を下)
・ジャージでの出場は厳禁
・頭髪の染色・脱色・化粧・ピアス、指輪などは禁止する。(確認された時点で失格とする)
- 20 ・公認審判員証(ワッペン)を持参すること。
・前年度優勝校 団体戦 男子 長野俊英高校 A 女子 長野商業高校
個人戦 男子 三好・小宮山ペア(長野俊英) 女子 内田・白井ペア(長野俊英)は優勝杯を返還してください。